

令和 2 年度（令和 3 年 3 月期）

# 事業報告書

（令和 2 年 4 月 1 日から、令和 3 年 3 月 31 日まで）

令和 2 年度（令和 2 年 4 月 1 日から、令和 3 年 3 月 31 日まで）に実施した主な事業は下記の通りです。

## 1. 公益目的事業の実施状況

### 公益目的事業

公1	公2	公3	公4	公5	公益共通
『タイ国情報』発行	書籍刊行	講演会・セミナー	日本語書籍寄贈	図書館	HPを通じた情報発信

#### (1) 機関誌『タイ国情報』の発行（隔月発行）および復刻事業 [公1]

① 『タイ国情報』は年間 6 回（令和 2 年 3・5・7・9・11 月号、令和 3 年 1 月号）の定期に刊行しました。タイの政治、経済、社会から文化、生活に至るまで、幅広くタイムリーなテーマをお届けできるように、執筆者の方々と相談を重ねながら発行しております。

② 政治面では、軍事政権への不満が高まり、学生を中心としたデモが全国に拡大しています。大学生に加えて、中高生も参加している今回のデモはこれまでにない動きです。また、デモが、政権への批判だけでなく、王室改革を掲げるようになって以降、参加者の逮捕等、対立が深まっています。国会ではデモ隊の要求する憲法改正が議論されましたが、進展はありません。タイ政治は混迷が継続しており、しばらくは政治の動向に注視する必要があると思われます。

③ 経済面では、新型コロナウイルスの影響で経済の 2 本柱である輸出と観光が低迷しました。タイ国家経済社会開発委員会によれば、2020 年の実質国内総生産（GDP）は、前年比 6.1%の減少となりました。アジア通貨危機があった 1998 年（7.6%減）以来、22 年ぶりの落ち込み幅です。

④ 社会面では、タイに於きましても、コロナ禍の影響が大きな影を落としました。2020 年 3 月以降、新型コロナウイルスの感染患者が増加。2020 年 3 月 25 日には、プラユット首相より、タイで感染拡大している状況を抑制するために、緊急事態宣言が発表されました。残念ながら、バンコクを中心に新たな患者の報告が増加しています。タイ及び日本への渡航が途絶え、これまで順調に拡大してきた観光を通じた相互交流も滞っています。コロナの早期の収束を願ってやみません。

⑤費用（直接費用のみ、人件費等配賦費用は除く）は、通常ベースで合計 2,961 千円（印刷製本費 1,639 千円、諸謝金・執筆料 1,147 千円、通信費 175 千円）となりました。1冊あたりのページ数が増えたことで（令和元年度 107 ページ⇒令和 2 年度 119 ページ）印刷製本費が 99 千円増加、一方執筆料は 178 千円減少しました。1回あたりの平均発行費用は 493 千円と、令和元年度比 3 千円の減少となりました。引き続き、費用（印刷費、執筆料）をコントロールしつつ、内容のさらなる充実を図って参ります。

『タイ国情報』直接費用

（単位：千円）

		令和 2 年度	令和元年度	増減
合計		2,961	3,088	▲ 127
内 訳	印刷製本費	1,639	1,540	+ 99
	諸謝金（執筆料）	1,147	1,325	▲ 178
	通信費	175	223	▲ 48
1回あたり平均発行費用		493	515	▲ 22

平均ページ数

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
ページ数	192	151	151	149	156	165	136	119	132	107	119

⑥『タイ国情報』は研究資料としても活用されるよう、また、当協会の認知度が高まるよう、会員のみならず、大学・公立図書館、大学研究室、研究機関などへの納本を継続しています。

・配布先数： 約 380 ヲ所

（うち、図書館・大学研究室、研究機関、高等学校など、約 150 ヲ所）

⑥ 有料配布（書籍販売）については、前年度に比べ増加しました。バックナンバーを纏めてご購入される方がいらっしゃいました。

有料配布金額

（単位：千円）

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
有料配布	356	209	110	146	101	111	93	81	73	62	144

(2) 書籍刊行事業 [公 2]

令和 2 年度は、書籍刊行実績はありませんでした。

(3) 講演会およびセミナー開催事業 [公 3]

令和 2 年度は、以下の通り 2 回の講演会を開催しました。当協会の会員のみならず、タイに関連のある一般企業やアジア諸国の関連団体などからも 2 回合計で約 150 名の方々がご参加くださいました。タイの経済・社会・文化をテーマに専門家の先生方にご講演いただきました。コロナ渦のため、会場で

の開催は出来ませんでした。オンラインの利点を活かし、タイからのご参加をいただけたことは幸いでした。

<講演会の概要（講師の所属、肩書は講演当時のもの）>

・令和2年9月25日 「コロナ渦でのタイ経済・通商政策の動向」

講師： 助川 成也氏（国士舘大学 政経学部教授）

・令和2年11月17日 「ポストコロナのタイを観る3つの視点」

講師： 大泉 啓一郎（亜細亜大学アジア研究所教授）

#### (4) 日本語書籍寄贈事業 [公4]

タイで日本語教育を行なう中高校・大学などに日本語書籍を送るプロジェクトは、本邦の協力団体や会員等から書籍を寄贈いただいたほか、タイ側でのご協力も得て、昨年度までに11回実施しました。タイにおける日本語教育機関数は、現在、約650校に上ります。昨年12月には、コロナ禍でタイ渡航が困難な中、国際交流基金主催のオンラインイベント、日本語ストーリーテリング・コンテストに参加したタイの高校、15校に日本語学習教材及び日本のコミックを寄贈しました。

本事業は取り組み開始から既に13年が経過しており、受け入れ校側のニーズにも変化があるようです。最近では現地の学生さんから、日本語教材や日本語検定テキストなどのご要望も伺っております。現地でご活躍されている日本語パートナーズ（国際交流基金より派遣）の先生方のご協力をいただきながら、引き続き寄贈した日本語書籍が有効にご活用されるように取り組んで参ります。コロナ禍でタイへの渡航が難しいながら、次回（第12回）に向けて、在タイ日本国大使館、国際交流基金、タイ国元日本留学生協会（OJSAT）をはじめ関係者の皆さまの貴重なアドバイスを参考に実施して参ります。

#### <協力団体>

日本：三井倉庫ホールディングス株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、三井化学株式会社、日本放送協会（NHK）、株式会社紀伊國屋書店、そのほか個人の方々

タイ：在タイ日本国大使館、国際交流基金（バンコク）、タイ国元日本留学生協会（OJSAT）、泰日経済技術振興協会（ソーソートー）

#### (5) 図書館の運営事業 [公5]

令和2年（2021）年度末では、約3,400冊になりました。大学や研究機関のタイ研究者、タイで業務を行う企業の方、学生、タイに興味をお持ちの個人の方などにご利用いただいております。

(6) ホームページを通じた情報発信 [共通]

ホームページを通じ、当協会の活動状況、『タイ国情報』目次、所蔵図書リストなどを提供するほか、講演会やその他の当協会活動への参加案内など、当協会からの情報発信を行っています。

2. その他の事業の実施状況

(1) 「納涼の夕べ」は中止

毎年恒例の在東京タイ王国大使館との共催による「納涼の夕べ」は、コロナ禍につき皆様の安心安全を最優先に考慮したため、残念ながら、開催見送りといたしました。引き続き、当協会会員、大使館関係者、関連団体など、タイ国に関係する方々との親睦交流図って参ります。

3. 協力事業等の実施状況

(1) 第 21 回日本タイ学会主催の研究大会は、オンライン方式にて開催されました。タイ研究者による様々な発表を聴講し、『タイ国情報』の新たな執筆者の発掘に努めました。

・令和 2 年 10 月 10 日（土） 於：オンライン（Zoom）にて開催

(2) 神田外語大学および在京タイ王国大使館による共催の「第 15 回タイ語弁論大会」は、コロナの影響で開催見送りとなりました。

(3) タイ日大辞典の進捗状況について、コロナ禍の影響で厳しい環境下、編者の赤木先生ならびに出版社にて鋭意、編集・校正（主に語源や例文など）作業中です。赤木先生は、外部の役職を全てご退任されて、本件に特化されていると伺っております。

4. 協会の運営状況について

(1) 会員増減

コロナ禍に伴う景気悪化などの影響もあり、法人会員は 5 社減少して合計 99 社となりました。個人会員は 8 名減少して合計 103 名となりました（いずれも令和 3 年 3 月末現在）。今後共、会員獲得に努めて参ります。

以上

## 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、記載する事項はありません。

令和2年度（令和3年3月期）貸借対照表  
（令和3年3月31日現在）

[単位:円]

科 目	当 期	令和元年度(2/3月末)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現預金			
現金	0	0	0
預貯金	14,693,350	9,515,823	5,177,527
現預金計	14,693,350	9,515,823	5,177,527
未収会費	250,000	250,000	0
流動資産合計	14,943,350	9,765,823	5,177,527
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	19,000,000	19,000,000	0
基本財産合計	19,000,000	19,000,000	0
(2) 特定資産			
使途指定特別寄附金(公2)	170,000	170,000	0
使途指定特別寄附金(公4)	229,340	461,084	▲ 231,744
特定資産合計	399,340	631,084	▲ 231,744
(3) その他固定資産			
図書館所蔵書籍	664,933	664,033	900
敷金	1,659,240	1,659,240	0
電話加入権	74,600	74,600	0
什器備品	140,400	280,800	▲ 140,400
その他固定資産合計	2,539,173	2,678,673	▲ 139,500
固定資産合計	21,938,513	22,309,757	▲ 371,244
資産合計	36,881,863	32,075,580	4,806,283
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	21,847	0	21,847
社会保険料	0	0	0
預り金計	21,847	0	21,847
前受会費	260,000	300,000	▲ 40,000
流動負債合計	281,847	300,000	▲ 18,153
負債合計	281,847	300,000	▲ 18,153
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	399,340	631,084	▲ 231,744
使途指定特別寄附金	399,340	631,084	▲ 231,744
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(399,340)	(631,084)	▲ 231,744
2. 一般正味財産	36,200,676	31,144,496	5,056,180
(うち基本財産への充当額)	(19,000,000)	(19,000,000)	0
正味財産合計	36,600,016	31,775,580	4,824,436
負債及び正味財産合計	36,881,863	32,075,580	4,806,283

# 令和2年度（令和3年3月期） 正味財産増減計算書

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

(A)

(B)

[単位：円]

科 目	実 績	元年度(2年3月期) 通年実績額	差 異(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 1. 経常増減の部				
3 (1) 経常収益				
4 ①基本財産運用益	1,901	1,902	▲ 1	
5 基本財産受取利息	1,901	1,902	▲ 1	
6 ②受取会費	16,160,000	16,825,000	▲ 665,000	2年度会費260千円は前受会費に計上
7 賛助会員受取会費	16,160,000	16,825,000	▲ 665,000	(うち法人200千円、個人50千円)
8 ③事業収益	109,800	62,100	47,700	2年度未収会費 250千円
9 機関誌発行・書籍発行事業	109,800	62,100	47,700	(うち法人200千円、個人50千円)
10 講演会・セミナー事業	0	0	0	
11 図書館運営事業、他	0	0	0	
12 ④雑収益	386	571,289	▲ 570,903	
13 雑収入	0	570,946	▲ 570,946	元年度/シントン大使歓迎会会費徴収570千円
14 受取利息	386	343	43	
15 ⑤受取寄附金	231,744	202,949	28,795	
16 指定正味財産からの振替	231,744	202,949	28,795	日本語書籍寄贈(公4)寄贈書籍購入のための寄付金
17 経 常 収 益 計	16,503,831	17,663,240	▲ 1,159,409	
18 (2) 経常費用				
19 印刷製本費	1,638,395	1,540,091	98,304	
20 書籍刊行費	0	0	0	
21 刊行物購入費	231,744	202,949	28,795	
22 諸謝金	1,237,000	1,333,000	▲ 96,000	
23 通信運搬費	551,107	599,247	▲ 48,140	
24 旅費	4,894	173,942	▲ 169,048	タイ学会出席のための出張中止及び、日本語書籍寄贈のためのバンコク出張中止
25 消耗品費	150,795	145,614	5,181	
26 パーティ費	880	411,148	▲ 410,268	納涼の夕べ、コロナで開催できず
27 会議費	0	231,090	▲ 231,090	
28 会場費	0	25,120	▲ 25,120	
29 大使館行事関係費	0	596,750	▲ 596,750	元年度はシントン大使歓迎会あり
30 雑支出	0	0	0	
31 臨時支出	0	0	0	
32 支払手数料	170,186	207,010	▲ 36,824	
33 賃借料	4,883,694	4,544,805	338,889	公益事業、管理費に案分 2年9月、賃貸契約更新料家賃1か月分支払い
34 光熱水料費	404,598	421,171	▲ 16,573	公益事業、管理費に案分
35 清掃費	26,400	26,160	240	公益事業、管理費に案分
36 租税公課	1,920	2,400	▲ 480	
37 消耗什器備品費	13,200	335,931	▲ 322,731	元年度はPC購入(入替)
38 減価償却費	140,400	140,400	0	公益共通・管理費に各50%配賦
39 役員報酬	960,000	1,060,000	▲ 100,000	
40 給与・賞与	1,030,950	1,560,000	▲ 529,050	令和元年、社員1名定年退職。令和3年2月に1名採用(派遣)
41 通勤手当	2,388	20,690	▲ 18,302	
42 社会保険料	0	125,906	▲ 125,906	
43 福利厚生費	0	0	0	
44				
45 経 常 費 用 計	11,448,551	13,703,424	▲ 2,254,873	
46 評 価 損 益 等 計	0	0	0	
47 当 期 経 常 増 減 額	5,055,280	3,959,816	1,095,464	
48 2. 経常外増減の部				
49 (1) 経常外収益	900	0	900	
50 資産評価益	900	0	900	図書館事業(公5)・寄贈図書の入りに伴う評価益
51 (2) 経常外費用	0	9,892	▲ 9,892	
51 資産除却・評価損	0	9,892	▲ 9,892	図書館事業(公5)・前期購入図書の評価替に伴う評価損
52 当 期 経 常 外 増 減 額	900	▲ 9,892	10,792	
53 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	5,066,180	3,949,924	1,106,256	
54 一般正味財産期首残高	31,144,496	27,194,572	3,949,924	
55 一般正味財産期末残高	36,200,676	31,144,496	5,056,180	
56 II 指定正味財産増減の部				
57 使途指定特別寄附金				
58 一般正味財産への振替額	231,744	202,949	28,795	日本語書籍寄贈(公4)寄贈書籍購入のための寄付金
59 当期指定正味財産増減額	▲ 231,744	▲ 202,949	▲ 28,795	日本語書籍寄贈(公4)寄贈書籍購入のための寄付金
60 指定正味財産期首残高	631,084	834,033	▲ 202,949	
61 指定正味財産期末残高	399,340	631,084	▲ 231,744	
62 III 正味財産期末残高	36,600,016	31,775,580	4,824,436	

令和2年度(令和3年3月期) 正味財産増減計算書内訳表

(令和2年4月1日 から 令和3年3月31日まで)

公益財団法人日本少子協会  
【単位:円】

科 目	公益目的事業										(A) 合計	(B) 2年3月期 通期実績	差異 (A-B)	令和3年3月期 予算	差異 (A-C)	
	公1(機関誌)	公2(刊行)	公3(講座)	公4(寄附)	公5(図書館)	公益共通	公益小計	親睦事業	その他事業	法人会計 (管理費)						
1 一般正味財産増減の部																
2 1. 経常増減の部																
3 (1) 経常収益																
4 ①基本財産増減利益																
5 ②受取利息																
6 ③受取会費																
7 ④非営利収益	4,524,800	484,800	1,131,200	646,400	1,616,000	1,901	1,901	646,400	6,948,800	16,160,000	16,825,000	▲ 666,000	16,040,000	120,000		
8 ⑤経常収益	109,800	0	0	0	0	109,800	0	0	0	109,800	62,100	▲ 47,700	100,000	9,800		
9 ⑥経常費用																
10 ⑦雑収入																
11 ⑧受取利息																
12 ⑨受取会費																
13 ⑩非営利収益																
14 ⑪経常収益合計	4,634,600	484,800	1,131,200	646,400	1,616,000	1,901	1,901	646,400	6,948,800	16,503,831	17,663,240	▲ 1,159,409	16,541,590	▲ 17,759		
15 ⑫経常費用	1,638,395	0	0	0	0	1,638,395	0	0	0	1,638,395	1,540,091	98,304	1,800,000	▲ 161,605		
16 ⑬印刷費																
17 ⑭旅行費																
18 ⑮印刷費																
19 ⑯印刷費																
20 ⑰印刷費																
21 ⑱印刷費																
22 ⑲印刷費																
23 ⑳印刷費																
24 ㉑印刷費																
25 ㉒印刷費																
26 ㉓印刷費																
27 ㉔印刷費																
28 ㉕印刷費																
29 ㉖印刷費																
30 ㉗印刷費																
31 ㉘印刷費																
32 ㉙印刷費																
33 ㉚印刷費																
34 ㉛印刷費																
35 ㉜印刷費																
36 ㉝印刷費																
37 ㉞印刷費																
38 ㉟印刷費																
39 ㊱印刷費																
40 ㊲印刷費																
41 ㊳印刷費																
42 ㊴印刷費																
43 ㊵印刷費																
44 ㊶印刷費																
45 ㊷印刷費																
46 ㊸印刷費																
47 ㊹印刷費																
48 ㊺印刷費																
49 ㊻印刷費																
50 ㊼印刷費																
51 ㊽印刷費																
52 ㊾印刷費																
53 ㊿印刷費																
54 ㊽印刷費																
55 ㊾印刷費																
56 ㊿印刷費																
57 ㊽印刷費																
58 ㊾印刷費																
59 ㊿印刷費																
60 ㊽印刷費																
61 ㊾印刷費																
62 ㊿印刷費																

2年度通期実績	11,448,551	8,425,332	73.59%
内、公益目的事業	11,448,551	8,425,332	73.59%



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

平成 27 年度から「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日、平成 21 年 10 月 16 日改正、内閣府公益認定等委員会）を適用している。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、法人税法に規定する次の方式を採用している。

有形固定資産： 定額法

#### (2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおり。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	19,000,000	0	0	19,000,000
小計	19,000,000	0	0	19,000,000
特定資産				
使途指定特別寄附金(公2)	170,000	0	0	170,000
使途指定特別寄附金(公4)	461,084	0	231,744	229,340
小計	631,084	0	0	399,340
合計	19,631,084	0	0	19,399,340

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおり。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	19,000,000	( 0)	( 19,000,000)	( 0)
小計	19,000,000	( 0)	( 19,000,000)	( 0)
特定資産				
使途指定特別寄附金(公2)	170,000	( 170,000)	( 0)	( 0)
使途指定特別寄附金(公4)	229,340	( 229,340)	( 0)	( 0)
小計	399,340	( 399,340)	( 0)	( 0)
合計	19,399,340	( 399,340)	( 19,000,000)	( 0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおり。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
図書館所蔵書籍	664,933	0	664,933
敷金	1,659,240	0	1,659,240
電話加入権	74,600	0	74,600
什器備品			
ゼロックス複合機	702,000	561,600	140,400
合計	3,100,773	561,600	2,539,173

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおり。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
書籍刊行事業への寄附金充当額	0
日本語書籍寄贈事業の寄附金充当額	231,744
合計	231,744

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

引当金は計上していない。

## 令和2年度（令和3年3月期）財産目録

（令和3年3月31日現在）

〔単位：円〕

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
1 I 資産の部			
2 1. 流動資産			
3 現金			0
4 預金			
5 普通預金	三井住友銀行日本橋支店	運転資金として	4,568,906
6	三井住友銀行日本橋支店<預りロ>	運転資金として	22,935
7	三菱UFJ銀行日本橋支店	運転資金として	6,011,537
8 振替貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	1,089,972
9 定期預金	三菱UFJ銀行日本橋支店	運転資金として	3,000,000
10 現預金計			14,693,350
11 未収会費	法人会員 2社 200千円 個人会員 5名 50千円	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する令和2年度会費の未収金	250,000
12			
13 流動資産計			14,943,350
14 2. 固定資産			
15 基本財産			
16 定期預金	三井住友銀行日本橋支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の事業共用の財源として使用している。	19,000,000
17 基本財産計			19,000,000
18 特定資産			
19 使途指定特別寄附金	ゆうちょ銀行他	公益目的保有財産であり、タイ日辞典刊行支援の資産として管理している。	170,000
20 使途指定特別寄附金	ゆうちょ銀行他	公益目的保有財産であり、日本語書籍寄贈事業（公4）の資産として管理している。	229,340
21 特定資産計			399,340
22 その他固定資産			
23 図書館所蔵書籍	タイ関連書籍を中心に、図書館に所蔵する閲覧用書籍 2,101冊	公益目的保有財産であり、図書館運営事業（公5）に100%使用している。	664,933
24 敷金	三井住友銀行 内山ビル 4階	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業（公5）の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	1,659,240
25 電話加入権	NTT固定2回線	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	74,600
26 什器備品	富士ゼロックス製プリンタ複合機 DocuCenter V C2263	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	140,400
27 その他固定資産計			2,539,173
28 固定資産合計			21,938,513
29 資産合計			36,881,863
30 II 負債の部			
31 1. 流動負債			
32 預り金			
33 源泉所得税		執筆・講演謝金、役員報酬、給与に係る源泉所得税	21,847
34 社会保険料		健康保険料、厚生年金保険料	0
35 預り金計			21,847
36 前受会費	法人会員 2社 200千円 個人会員 6名 60千円	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する令和3年度会費	260,000
37			
38 負債合計			281,847
39 正味財産			36,600,016